

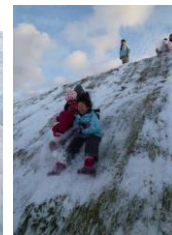
# ☆放課後子ども教室☆

2月に入り、日もだいぶ長くなってきた今日この頃。年明け前には真っ暗だった帰り道も、夕暮れのやわらかな明かりのもと、子どもたちを見送れるようになりました。春の訪れが今から待ち遠しいです。

1月、2月の放課後教室では外での雪遊びや、おやつづくり、モノづくりのプログラムを行いました。おやつづくりは、冬のおやつの定番・おしるこをつくりました。上新粉と白玉粉を混ぜたものを丸めてゆで、あんこやきな粉をかけていただきます！自分たちでつくって、みんなで食べるおやつの味は格別です。口の周りにあんこをつけながら、お団子を頬張る姿はとても可愛らしかったです。たくさんつくったお団子はあっという間に完売。「もうないの？」と残念そうな声があちこちから聞こえてきました。



この時期はプログラムではもちろん、自由時間でも外に出て雪遊びを楽しんでいます。掘ればすぐに地面が見えるほどの降雪量。なおかつ、朝晩の気温の低さで氷の粒のようにになっている雪質。子どもたちが大好きな雪合戦をしたり、かまくらをつくったりというような雪遊びはなかなか難しい環境ではありますが、その中でも子どもたちは楽しみ方を見つけて遊んでいます。表面が固くしまった雪をブロック状に切り出して家の壁をつくったり、ケーキに見立てて遊んだり、大きな雪山をつくって木の棒を立て、砂山崩しの要領で遊んだりもしました。冷たい風が吹いて、子どもたちの鼻の頭やほっぺを赤くしても全然へっちゃらで駆けまわる姿を見ると、子どもは風の子という言葉を実感します。学校林や河川敷などで尻すべりをしたり、基地づくりをしたり、帰る時間だよと声をかけても「もうちょっとだけ！」と夢中になって遊んでいます。滑り降りては斜面を駆け上がるという遊びを何度も繰り返し、気付けば汗だくという子も。季節ごとの自然に触れながら外で遊ぶ時間は、子どもたちが創造的に遊べるとも素敵な時間だと改めて感じました。



2月のモノづくりプログラムでは手作りバスボム（入浴剤）をつくりました。掃除や料理の時に使う重曹とクエン酸、片栗粉をよく混ぜ、そこにアロマオイルと蜂蜜、ハーブティーを入れてこねていきます。握るとまとまるようになったら、サランラップに移し、好きな形にかたどってできあがりです。真ん丸ボール形にする子もいれば、ハート形や星形、飛行機の形をつくった子もいました。今回はグレープフルーツのアロマオイルを使い、さわやかな柑橘系の香りに子どもたちもうっとり。素敵なお風呂タイムを楽しんでもらえれば嬉しいです。

